

配信資料に関する技術情報第 543 号

～ 異常潮位に関する潮位情報の改善について ～
(配信資料に関する仕様 No30508 及び No30901 関連)

概要

気象庁では、潮位の変動による被害が発生するおそれのある場合や、潮位の状態について一般及び関係機関に対して解説等を行うことが有効であると認められる場合、各地方气象台等より潮位に関する情報（以下「潮位情報」という。）を随時発表しています。（潮位情報の詳細な内容や仕様等については「配信資料に関する仕様 No.30901」をご覧ください。）

このうち、異常潮位^{*}発生時に発表する、「異常潮位に関する潮位情報」について、本年 10 月 28 日（水）に運用開始する日本沿岸実況監視予測システム（以下「JPN システム」という。JPN システムの詳細な内容や仕様等については「配信資料に関する仕様 No.30508」をご覧ください。）の成果を活用し、現象の成因、持続期間や見通しに関する情報を新たに追加する改善を行います。

本改善に伴う、潮位情報のデータ種類コード、ファイル名等の仕様の変更はありません。また、異常潮位以外の要因（副振動、大潮）で発表する潮位情報については、情報内容の変更はありません。

1 実施日時

令和 2 年 10 月 28 日（水）11 時（日本時間）以降に発表する情報より変更します。

2 気象情報の変更内容等

現在、異常潮位に関する潮位情報は、検潮所での観測結果に基づいて、異常潮位の発生を確認した後に発表しています。

今般、JPN システムを導入することにより、1 週間程度先までの異常潮位の発生や終息を予測することが可能になりました。このため、異常潮位に関する潮位情報に、現象の成因、持続期間や見通しに関する情報を新たに追加する改善を行います。

改善後の情報文の例を以下に示します。

^{*} 異常潮位とは、台風などによって引き起こされる高潮や地震に伴う津波とは異なった原因で、潮位がある程度の期間（概ね 1 週間から 3 か月程度）継続して高く（もしくは低く）なる現象のことです。詳しくは気象庁ホームページの「知識・解説」のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/knowledge/tide/ijochoi.html>

改善後は、異常潮位の成因、持続期間や見通しに関する情報を追加します（下線部参照。）

改善後	現行
<p>瀬戸内海沿岸等の異常潮位に関する地方潮位情報 第1号</p> <p>近畿から四国地方の太平洋沿岸および瀬戸内海の一部沿岸では、<u>黒潮の流路が変動する影響で、今後1週間以内に潮位が平常に比べて2.5センチ程度高い状態になると予想されます。</u>これらの沿岸では、しばらくの間、満潮の時間帯を中心に海岸や河口付近の低地で浸水や冠水のおそれがあります。</p> <p>(以下略)</p>	<p>瀬戸内海沿岸等の異常潮位に関する地方潮位情報 第1号</p> <p>近畿から四国地方の太平洋沿岸および瀬戸内海の一部沿岸では、潮位が平常に比べて2.5センチ程度高い状態が続いています。この状態が今後も継続した場合、これらの沿岸では、しばらくの間、満潮の時間帯を中心に海岸や河口付近の低地で浸水や冠水のおそれがあります。</p> <p>(以下略)</p>